

小山小学校をお墓に移転43億円のムダづかい

子ども犠牲の計画は見直しを!!



小山小学校の移転先一掘り返されるお墓

◆『住宅地では使えない』からと、“墓地に学校”でいいのでしょうか

市も、区画整理施行者である都市再生機構も、“駅前高度利用”とっています。だからといって、学校をお墓に追いやってい

いのでしょうか。子どもや教育環境よりも、経済性が優先されているのでしょうか。

◆入札参加4社中3社が辞退—“競争入札”が成り立たない!

さらに、入札参加を表明していた企業グループ4社のうち、3社が辞退。“競争入札”が成り立ちません。残った1グループも、『指名停

止処分』を全国で受けているなど、問題が山積です。

計画を進めるために、広報でウソも

昨年12月1日広報では、学校をそのまま残す場合、学校用地が「60%」も取り上げられると報道しました。しかし、都市再生機構は「具体的数値は示していない。(広報を見て)困惑している」と回答。根拠のない数字までだして、計画推進とは行政への信頼性を損なうのではないのでしょうか。



児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる
児童憲章より

学校環境やまちづくりについて、私たちがま
真剣に考える時でよいでしょうか。子どもの
心を大事に、笑顔が輝く学校やまちをつ
ため、あなたのご協力を心からよびかけます。

業者との契約はまだ決まっています!! 署名にご協力ください

小山小学校等移転と教育・福祉を考える連絡会

代表 稲葉守俊

住所 流山市駒木1086-38

電話 7154-7459

小山小学校等の移転とPFI事業に関する請願書

請願理由

小山小学校や十大夫福祉会館・児童館、学童クラブ山びこルームは、子どもや高齢者が安心できる街づくりをめざして、住民と行政が力を合わせて築いてきました。

いま、これら施設が「(仮称)小山小学校校舎建設等PFI事業」によって、墓地のところに移転され、統合されようとしています。PFI事業は、民間会社が建設、維持・管理、運営まで一括して行うというものです。

事業費は、約43億円といわれ、新たに用地確保の費用等を含めると、総額約55億円ともいわれています。

学校や福祉会館・児童館、学童クラブの移転も、PFI事業も、保護者や教職員、住民が求めたものではありません。そのため流山市の一方向的な計画に、戸惑いや疑問、不安の声があがっています。

いま、流山市に求めたいことは、上から決めた計画を、市民に押し付けるのではなく、市民に十分な資料を公開し、市民が意見を述べられる場を広げ、市民の声を聞いていただきたいということです。

請願項目

- 1、小山小学校等の移転とPFI事業は、行政の押しつけではなく、保護者や教職員、住民の意見を聞いて、再検討してください。

氏名	住所

◆請願署名は、年齢等を問わず、どなたでも有効です。ご協力をお願い致します。